

## 原 慶明：日本進化学会設立総会および記念大会「生物多様性シンポジウム」に参加して

去る10月10日および11日に国立京都国際会館にて頭書の総会とシンポジウムが行われた。初日11時より総会が開かれ、準備委員会代表の宮田隆氏（京大）より設立にむけての取り組みの経緯と挨拶があり、それに引き続いて国立遺伝研の五條堀孝氏によって同学会の会則およびその細則が披露された。討議の後、会則については若干の修正が加えられた後、満場一致で、了承され、めでたく同学会が発足した。なお、発起人名簿には進化研究会の会員を主体とした27準名が掲載され、総会には準備委員会の予想を大幅に越え、200名以上が参集した。

成立した会則とは別に、学会運営は直ちに始まるため、五條堀氏より設立準備委員会があらかじめ用意した会長をはじめとする執行部メンバー（後掲）が提示され、異議無く了承された。同時に次期大会（2000年、10月予定）は長谷川政美氏（統計数理研）が担当し、東京で開催することも紹介された。長谷川氏からはシンポジウムだけでなく一般講演も行う方針であり、詳細は追って連絡するので、多数の参加を期待する旨の挨拶があった。

学会の主な活動は以下のようである。1) 機関紙は当面発刊せず、ニュースレターと名簿を発行する。2) 学会賞（木村資生先生ご遺族の寄付を活用）を制定し、広く国内外の優れた進化研究者の中から選考し、授与する。3) 大会は年1回を原則とし、当初は複数回の開催もありうる。4) 会費と会員管理は外部委託する。5)

会費は一般会員3,000円、学生会員2,000円、賛助会員30,000円（一口）とする。6) 1年後は1000名、3年後は3000名の会員になるよう努力する。

総会後の午後から翌日の17時近くまで、約1日半、「発生と進化」4演題、「生態と進化」5演題、「植物の進化」5演題、「系統・分類」5演題、「分子進化」5演題のシンポジウムが行われた。いずれの演題においても座長が時間の遣り繰りを苦勞するほど熱心な質疑応答が展開され、次期大会へ議論がそのまま持ち越されそうな勢いであった。また、若い学生諸君の参加がやけに目立ったのは筆者の老いのせいだけではなかったはずである。

平成12年度（1月－12月）日本進化学会役員一覧  
 会長：大澤省三（名大名誉教授，JT生命誌研究館顧問），副会長（次期会長）：宮田隆（京大），幹事（庶務）：五條堀孝（遺伝研），（会計）：矢原徹一（九大），（渉外）：巖佐庸（九大），（編集）：斎藤成也（遺伝研），会計監査：堀寛（名大），三中信宏（農環研），評議員：石川統（東大），石和貞男（お茶大），植田信太郎（東大），太田朋子（遺伝研），岡田典弘（東工大），河田雅圭（東北大），倉谷滋（岡山大），郷通子（名大），小林一三（東大），白山義久（京大），高島尚之（総合大院），長谷川政美（統数研），長谷部光泰（基生研），馬渡俊輔（北大），佐藤矩行（京大），瀬戸口烈司（京大），西田治文（中大），長谷川真理子（専大），宝来聡（総合大院），山村則男（京大）。

（山形大学理学部生物学科）